

## 子育てジャーナル



発行人 四ツ釜雅彦  
 公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会・幼児教育センター  
 全埼玉私立幼稚園PTA連合会  
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館  
 TEL 048(863)7811 FAX 048(863)7761  
 http://www.youchien.ed.jp

No. 92  
 2020(令和2)年  
 3.1

「生きる力」を育む教育

## 令和に羽ばたく君たちへ



(公社)全埼玉私立幼稚園連合会  
 名誉会長 平原 隆秀

桜の蕾も膨らみ、まもなく令和最初の卒園生として年長さんが園を巣立ち、年中・年少さんもその後が続いていきます。皆さんが大人になる頃、世の中はどのように変わっているのでしょうか。

皆さんは大人になったらどんなお仕事に就きたいですか。バスの運転手さん、ケーキ屋さん、幼稚園の先生。夢は広がりますね。しかし、皆さんが大人になる頃には、今あるお仕事の半分以上は自動化されて無くなってしまいうとも言われています。また、皆さんの半分以上は、まだ存在しないお仕事に就くとも言われています。これから先、一体どんな新しいお仕事ができ

てくるのか、想像するとなんだかワクワクしますね。

そんな社会を生きていく君たちが、今どんな力をつけておくとよいのかを調べた学者さんがいました。すると、テストで点数をつけることが難しいような力を、子どものうちに身に付けておくことがとても大切だと分かったそうです。力といっても重たいものを持ち上げる力とは少し違います。例えば、いろいろなお友達と協力して何かを成し遂げる力、大変な事も頑張つて最後までやり抜く力、どんな事にも挑戦する意欲、自分にも凄いとところがあるんだぞという自信などの力です。

では、これらの力を鍛えるにはどんなトレーニングをすればよいのでしょうか。私は、園でたくさん遊ぶことが大事だと思います。お友達と力を合わせて砂場で大きなお山

を作ったり、運動会で初めできなかった組体操を成功させたり、頑張った発表会で先生やお家の人とうんと褒めてもらったり。そんな一つ一つの出来事が君たちを少しずつ、でも確実に立派な大人に近づけてくれていると思うのです。

もちろん、全部の力が満点の人なんていません。誰にでも得意な事もあれば苦手な事もあります。かけっこは苦手だけど音楽は得意な子、たくさんのお友達とお話しするのは恥ずかしくても一人で絵を描く事は大好きな子、いいところは人それぞれです。まずは得意な事、好きな事から取り組んでみましょう。自分のいいところをうんと伸ばすことができる、だんだんと他の事もやってみようという気持ちが生まれてくるものです。もちろん、お勉強も大切です。やれる事が多いに越したことはないけれど、まず自分はどうな事が好きなのか、どんな人になりたいのか、見つめてみましょう。そして、それに向かって自分を磨き、素敵な大人になってください。卒園、進級おめでとう。

### シリーズ 子育ての知恵 ④ 一日の始まりは げんきな挨拶から

湯沢 和枝

今日も朝のお迎え時間。お母さんと一緒に登園のお友だちや、バスから降りてくるお友だちの元気な話し声がエントランスから聴こえてきます。

子どもたちは、「せんせい、おはようございます」と、玄関を走り込んで、大きな声で「おはようさつ。私(園長)も「おはようございます。元気なあいさつありがとうございます。上手に「おはようさつ」と、今日も元気に楽しく遊べますよ」と、声がけする毎朝です。

未満児のかわいい言葉や年長さんのしっかりした口調、子どもたちの成長によって表現が違いますが、朝の挨拶が果たす役割はとても大きく、心理状態や健康を素早く読み取る大事な瞬間、子どもたちの状態のバロメーターです。

挨拶をきっかけに、感謝の気持ちや自分の思いを上手に伝えることができるようになります。小さかった子どもがどんどん広がって、いろいろな場面で自信がついてきます。

「良い習慣は一生の宝物です」と、保護者様にお話していますが、ご家庭でもみんなで声を掛け合い、挨拶の良い習慣を身に付けられるよう、願っています。

# 絵本のふしぎな力

## 「幼い頃の成長の芽は、読み手の声や表情で大きく育つ」



はないかと考えられていません。読み聞かせる側と読んでもらう側が、互いに心地良く影響しあっているということがいえるのではないかと、ということなのです。とても素敵な関係ですね。

子どもの成長には、絵本がなぜ大きな役割を果たすのでしょうか。

あなたはどのように考えますか？

本テーマで絵本を取り上げたのは、昔も今も、子どもの年齢にかかわらず、いつでも、どこでも絵本が愛されている事実には大きな意味を感じているからです。保育現場では、昔から現在に至るまで、ほぼ毎日絵本の読み聞かせを行います。その時の子どもの表情こそ、子どもらしく、人間味に溢れているといえましょう。これは、ただ絵本が好きだから、だけでは済まされない、子どもが絵本には惹きつけられるふしぎな力があるのではないかと、と考えるからです。子どもは、絵本の世界に入り込みながらも、絵本を媒介にして、読み手や周りの友だちとのコミュニケーションを本能的にしぜんとしています。ここでは、その秘密を、少し探ってみたいと思います。

例えば、赤ちゃんは、耳が聞こえ、目が見えています。耳は、お腹の中

にいる時から聞こえ、生まれた時には、母親の声を聞き分けることができるといわれています。目の機能については、視力は弱いのですが、生まれた時には、およそ20cmのところは焦点が合うといわれており、抱っこした時、赤ちゃんにとつて抱っこした人の顔が見える距離なのです。つまり、心地良い声や表情で絵本の読み聞かせを行うと、耳が聞こえ、目が見える子どもにとつて、感情や情動が豊かに包みこまれる状態になり、嬉しくて、手足をバタバタしたり、喜びの声を発したりしているのであろうといわれています。人間の根源といえる情動が安心・安定することは、その後の知の働きを促すベースになり、知的好奇心の芽に繋がっていくといえましょう。1歳児が、同じ絵本を、「もう1回！」「もっと」と繰り返しせがむのは、脳の働きのよき「情動や感情を満たしたい」欲求が、絵本の世界を体験し、絵本の世界に入り込むことで、その世界の面白さを体全体で味わっているの

かもしれない。大人は内容がわかったら、別の絵本をみようとしませんが、子どもは読み聞かされる心地良さと情動や感情が満たされるという、大人とは異なる楽しみ方をしていくのかもしれないのです。

さて、ここで「脳」について、子どもが絵本を全身で喜ぶ秘密を、あらためて考えてみましょう。子ども「脳」、大人の「脳」の関係から、読み聞かせは、子どもと絵本と大人が対話的であるかもしれないということなのです。

子どもの脳は、読み聞かせの時には「大脳辺縁系」が活発に働いているという特徴が見られ、感情や情動が豊かに動いているという報告があります。同時に、読み手の方も「前頭前野」が活発に動いており、それは特に共感したり、絵本の中の主人公になつたつもりで読み聞かせることで、より強く活発に働く部位なのです。この読み手側の脳の活性化は子どもの情動に強く働きかけるので

0歳、1歳は、絵本の内容の展開以上に、読み手の声や表情から、大きな安心感と心地良さを感じ、絵本と共に漂う空気感に、情動や感情が満たされることが見えてきました。その土台の上に、2歳は、ことばのイメージが大きく育ち始め、想像力も働かせられるようになり、自我の芽生えも出現します。「はけたよはけたよ」など、共感しながら主人公と一体化する姿は、すっかり絵本の中に入り込んでいます。3歳は、「きんぎょのトトロ」や「むしむし」など、主人公のトトロに「トト、あぶないよ、にげて」と一生懸命、主人公を助けようとしています。4歳は、「となりのたぬき」など、たぬきとうさぎのやりとりが面白いと、大笑いします。ユーモアがわかり、主人公を客観視します。5歳は、「ろくべえ まつてるよ」など、穴に落ちた犬のろくべえを助けるために、物語は、子ども達が色々な案を出し協力しあう場面が展開します。物語が終わって、

## 幼稚園と子どもと親

### 幼稚園は、種をまくところ

谷塚おざわ幼稚園 副園長 小澤 理加

3学期の昼食後、使用したクラスのやかんを洗う教員の後ろに、お手伝いをしてくれる園児がいることが多くなりました。やかんを職員室まで運んだり、ふたを拭いてくれたりしています。自主的に手伝ってくれている子ども達です。

ある日、年長担任と女の子の会話が聞こえてきました。

「お手伝いしてくれて先生助かりました。ありがとう。」

「これは、おれい。」

「えっ？」

「だって、先生はいつもがんばってくれてるでしょ。」

「だから、そのおれい。」

「あ…、また、先生もがんばります。」

女の子のしっかりとした話し方と、先生の照れた様子があかしくて、元担任と

現担任とあとでその話をしながら、「うーん、よく育ってるー」と、笑ってしまいました。

こんな子が、将来先生になるのかな。

以前中学校で、様々な職業の人から話を聞く授業で話す機会がありました。

幼稚園の仕事に興味、関心を持ち集まった生徒の中には、懐かしい卒園生の顔もありました。「幼稚園というところは、種をまくところですよ。これから、どんなことに興味を持ち、どん

なことが得意になっていくのかまだわからない、可能性を秘めた子ども達に、様々な経験をすることができるようになっています。その成長を助けるのが先生の仕事です」と伝えました。

私達教員は、子ども達の心に響くように話すこと、印象に残るように話すこと、それらを大切にこれからは様々なことに興味関心を持つことができるよう、卒園までいろいろな種をまき続けていきたいと思えます。



## 高橋 かほる 先生



幼児教育研究者。帝京短期大学こども教育学科教授。元聖徳大学児童学部教授。聖徳大学兼任講師。東京教育専門学校非常勤講師。東京都世田谷区教育委員会乳幼児教育アドバイザー。公益財団法人幼少年教育研究所理事。学校法人塩原学園教育顧問・理事（神奈川）、学校法人真理学園理事（東京）。学校心理士。児童学修士。

15年間の幼稚園教諭経験を生かし、研究所において30年以上「子どもの発達と相応しい援助」の研究仲間と共に現在も継続している。また大学では教員養成と共に「言語と心理」「自己と他者の心地良い人間関係とは」「カウンセリングマインドの活用法」「絵本の世界の研究」等々の研究をし、一方、全国各地の保育者や保護者への研修会や講演会は長年にわたり多数行い、理論的であり具体的にわかりやすいと好評を得ている。



2歳

はけたよ はけたよ  
作 神沢利子 絵 西巻茅子  
出版社 偕成社



3歳

きんぎょのトトとそらのくも  
作 絵 西巻茅子 出版社 こぐま社



4歳

となりのためぎ  
作 絵 せなけいこ 出版社 鈴木出版



5歳

ろくべえ まってろよ  
作 灰谷健次郎 絵 長 新太  
出版社 文研出版

「自分だったら、こうする」と自分の考えを出し合い、友だちと話し合っています。その時、どうするか、どのように試行

錯誤し、工夫するか等々は、思考力の芽生えといわれるものです。

0歳からの、その年齢に必要な積み重ねがあつて子どもは育っている

のだなあと、日々感じていきます。子どもが絵本に夢中になり目を輝かせている時、子どもの発する言葉や表情に気づく大人でありたいと、あらためて思っています。

# 卒園おめでとう

毎日少しずつ成長していく

認定こども園北越谷幼稚園

山田 紀子

みんな大きくなりました

金剛幼稚園

笠井 みどり

たくさん笑顔がありました

原山幼稚園

永目 綾子

もうすぐ1年生

神保原幼稚園

平 美英

引つ込み思案で人見知り  
が激しい息子でした。入園  
前の未就学児教室の発表会  
ではなんとか舞台には上  
がったものの、最後まで固  
まったまま動かせませんで  
した。

一学期の間は、泣きなが  
ら登園していた娘。お友達  
と楽しく遊べているかな。  
そんなことばかり考えてい  
ました。

四歳のお誕生日を迎えた  
ある日の事。遊び足りず、  
だだをこねていた娘に気づ  
いた先生が「お誕生日プレ  
ゼントよ」と、ほほ笑みな  
がら、誰もいない園庭のプ  
ランコを押してくださいさつた  
あの日が忘れられません。

今年度の発表会ではすつかり  
成長した姿を見ることがで  
きました。自信に満ちた  
顔で、堂々と「よさこいエ  
イサー」を踊る姿は、キラ  
キラと輝いて見えました。  
たくさんのお友達に刺激  
を受け、照れ屋で優しいと  
ころはそのままに、少しず  
つ成長してきました。毎日  
が新しいことの発見で、た  
くさんのことを感じたり、  
学んだり、それが自信に繋  
がったのだと思います。

一年生。幼稚園生活で学ん  
だことを自信に、新しい一  
歩を踏み出してほしいと思  
います。自分らしく、健や  
かに成長してほしいと願っ  
ています。

卒園おめでとう！このま  
まゆつくりと、自分のペー  
スで成長してくださいね。

卒園おめでとう！

心から卒園おめでとう。

三年前、常に自由奔放な  
娘に不安だらけの中、始  
まった幼稚園生活。しかし、  
原山幼稚園には、いつも温  
かく笑顔で子ども達を迎え  
入れてくださる先生方の姿  
がありました。そんな大好  
きな先生方や、お友達に支  
えられ、楽しく過ごした園  
生活も終わろうとしていま  
す。

卒園おめでとう。三年間  
元気に通った幼稚園ともお  
別れの季節となりました。  
幼稚園に入園した時は、  
不安そうな顔を覗かせなが  
ら、「いつてきます」とバ  
スに乗って、帰ってくる  
幼稚園であったことや楽し  
かったことを嬉しそうに話  
してくれていましたね。

この三年間、様々な行事  
に一生懸命取り組んできた  
子ども達。その一つ一つを  
こなすごとに、沢山の笑顔  
と驚くほどの成長を見せて  
くれました。そして、その  
中で親として、子どもの力  
を信じる事も学びました。

幼稚園での三年間、また  
毎年運動会や発表会など  
の行事を通して、成長を感  
じて嬉しく思っております。  
もうすぐピカピカの一年  
生。幼稚園で学んだことや  
経験したことを活かして、  
小学生になってもたくさん  
色々なことに挑戦し、立派  
なお兄さんへと成長して  
くれることを願いつつ、見  
守っていきたいと思います。  
本当に卒園おめでとう。

みんなもうすぐ小学生。  
原山幼稚園で培った絆や思  
い出を大切に、新しい世界  
でもそのキラキラの笑顔の  
まま、力いっぱい歩んでく  
れる事を願っています。

卒園おめでとう。三年間  
元気に通った幼稚園ともお  
別れの季節となりました。  
幼稚園に入園した時は、  
不安そうな顔を覗かせなが  
ら、「いつてきます」とバ  
スに乗って、帰ってくる  
幼稚園であったことや楽し  
かったことを嬉しそうに話  
してくれていましたね。

## 保護者と祖父母のための子育てフォーラムに参加して

祖父母との関わりが子どもたちにとって  
大切だとわかりました。もっと触れ合える  
機会を作って、祖父母の知恵も借りながら  
一緒に子育てをしていこうと思いました。

いつも子どもたちの居場所を作ってく  
れる両親に心から感謝しています。この  
気持ちを両親に伝えなければと改めて思  
いました。

育児はなるべく自分の力でと思いがち  
ですが、これからは両親、義理の両親の  
力も借りながら、肩の力を抜いて育児を  
楽しみたいと思います。



孫との忙しい生活を楽しみながら、心  
は穏やかに過ごしていきたいと思いま  
した。家族のつながりをこれからも大切  
にしていきたいと思っています。

子どもの存在がどんなに尊く幸せをも  
たらしてくれるか、再認識できて良か  
ったです。子育てでたいへんな母親のサ  
ポートもまた違う視点でできそうです。

世の中全て忙しい中、ジジ、ババの役  
割がわかったような気がします。私たち  
は「みまもり隊」ですが、これからも愛  
情をこめて応援していこうと思います。



# 園生活を振り返って

かけがえのない居場所

大袋幼稚園

武藤佳代子

たくさんの方々に恵まれて

めぐみ幼稚園

瀬々 純

様々な経験に感謝

浦和こぼと幼稚園

石川 郁恵

ありがとう 妻沼幼稚園

妻沼幼稚園

高木 優

年中の息子は、慎重かつマイペース。石橋をとことん叩いても渡らない様な子でした。プレ保育では今生の別れの如く毎回号泣。入園時期を躊躇う事さえありました。

入園から約二年。学年の垣根を越えて子どもたち一人ひとりの名前を覚え、寄り添ってくださる先生方。沢山の温かさに包まれ、今では振り返る事もなくバスへ乗り込み、帰宅すると「たのしかったよ！」と笑顔で報告してくれる息子。幼稚園は今や彼の大切な居場所。お友達にも恵まれ、明るく心優しい子に成長しました。克服した事も沢山です。

「息子にはまだ難しいかな」と、引き算の様な育児をしがちな私。先生方の笑顔に感謝しつつ、親として牛歩で前進したいと思えます。

初めてのバスに一人で乗るとき、大泣きしている息子を見て、通わせるのはもう一年先でもよかったのではないだろうかと思っていました。でも、帰りのバスから降りてくる息子は笑顔で。その様子を見て一安心したのを覚えています。

今、息子は年少組になり、先生とお友達が大好きで毎日嬉しそうにバスに飛び乗って行っています。今ではお話すること、聞くことも上手になり園であったことをたくさん話してくれるようになりました。今の息子があるのも、たくさんの方々の声掛けや優しく抱きしめ寄り添ってくれたおかげだと思っています。

これからも先生やお友達と一緒にたくさんのお話を経験し、元気で優しい男の子に成長してほしいと思っています。

まだ体も小さく、あどけない表情だった入園式からあつという間に三年が経とうとしています。先生方の優しい笑顔に迎えられて通った幼稚園での生活は、生きる力の基礎を育む大切な時期だと思っています。その様な時期に沢山遊び、沢山学び、先生方やお友達との関わりを通して家庭ではなかなか経験出来ない事を体験したり、先生方の温かいご指導のおかげで行事を重ねるにつれて心も体も大きく逞しく成長していく姿に感動させられました。また、親として研修会や講演会に参加させて頂き有意義な時間を過ごす事が出来ました。そこで得た知識をこの先の子育てに活かしていきたいです。親子共に多くの思い出を胸に次のステップへ進みたいと思います。

「ママがいい」と言っていた四年前。そう泣きながら言う息子を昨日の事のよう思い出します。そんな息子が入園後数日が経ち、自ら私の手を引き幼稚園に登園するようになりました。そして帰り道に楽しそうに先生や、お友達との一日の出来事を一生懸命話す息子の姿に日々の成長を感じると共に、とても大きな愛と情熱を持って教育に携わっていただいた先生方、そして一緒に成長を重ねてくれたお友達に感謝しています。家ではまだまだ甘えん坊で泣き虫な息子もこの春小学校へ。息子の一番のファンとしても陰ながら見守り、そして心身共に成長させてくれた妻沼幼稚園に感謝の気持ちを忘れず、これからも親子共々躍進していきたいと思っています。

## 「生活力」をはぐくむために

「子育ての目安「3つのめばえ」から」

県教育委員会

では、小学校入学までに身に付けてほしいことをまとめた「子育ての目安「3つのめばえ」」の活用を促進しています。

その中の一つ「生活」では、「健康で安全な生活を営む」「自分のことは自分でする」「物を大切に使う」の三つの項目を掲げています。この「生活」に

**子育ての目安「3つのめばえ」**  
～小学校入学までに子供たちに身に付けてほしいこと～

**生活**

- ◇健康で安全な生活を営む
- ◇自分のことは自分でする
- ◇物を大切に使う

**他者との関係**

- ◇人と関わる力を身に付ける
- ◇言葉で伝え合う
- ◇さまりや約束を守る

**興味・関心**

- ◇好奇心や探求心をもっていろいろなものに関わる
- ◇文字や数値などの感覚を豊かにする
- ◇自分の思いを表現する

関わる力を高めることは、小学校以降、伸び伸びと行動し、楽しく充実した生活を送ることに繋がっていきます。さらに、将来の自立した生活を送るための基礎となるものです。子供たちは遊びの中で、その目的に沿って、時間を上手に使ったり、場所を選んだりして、よりよい生活のために必要な行動を身に付けていきます。また、先生や友達から認められることで意欲をもち、自分たちで生活をつくり出し、自分の力でやってみようとしています。

幼稚園教育要領では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、「健康な心と体」について「幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。」「自立心」について「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行動するために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。」と示されています。

こうした姿が育まれるために、幼稚園では子供たちが主体的に生活することを大切に、発達に即した、子供たちに必要な体験が得られるように工夫しています。

生活の基盤である家庭では、「早寝早起き朝ごはん」を習慣付けたり、衣服の着脱を一人でできるようにさりげなく手助けしたり、物の置き場所や片付けのルールを親子で決めたりして、子供が必要感や気持ちよさ、達成感を感じられるような関わりを大切にしましょう。

(埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課)

# 子どものぜん息について



埼玉医科大学 小児科  
埼玉医科大学病院  
アレルギーセンター  
徳山 研一 先生

ぜん息は、空気の通り道(気道)である気管支が発作的に狭くなるため、息を吐き出せなくなり息苦しくなる病気です。気管支喘息とも呼ばれ、アレルギーのある子ども達が多くかかります。発作は屋内塵中のダニなどのアレルギー物質を吸った時に起こります。それが、それ以外にも、風邪をひいたとき、激しい運動をしたとき、台風や急な冷え込みなど気象の変化が起こったとき、煙や大気汚染物質を吸ったときなど様々な原因で起こります。

呼吸とは息を吸ったり(吸気)吐いたり(呼気)を繰り返す動作ですが、喘息発作では、息を吐き出す呼吸の障害が特徴的で、呼吸時間が長くなり、肩を使った呼吸など努力性の呼吸となります。また、狭い気道を空気が通過するため、呼吸時に「ヒューヒュー」という雑音(ぜん鳴)が生じます。重い発作では低酸素状態となり、横になって睡眠をとれない、会話ができない、食事がとれない、意識が低下する、など危険な状態になります。軽い発作は自然に治ることが多いですが、気管支拡張薬(狭くなった気管支を広げる薬)の吸入や気管支の炎症を鎮めるステロイド薬などによる治療が必要な場合もあり、重症例では入院を要します。

ぜん息の診断は、ぜん鳴を伴う呼吸症状を繰り返していること、呼吸困難が気管支拡張薬で改善すること、肺炎や他の呼吸器疾患を除外できること、などから行われますが、注意すべき点があります。それは、ゼーゼー、ヒューヒューするから即ち、ぜん息、とは言えないことです。特に小さい子どもさんでは元々気道も狭いため、風邪などで鼻水や痰などが詰まるだけで容易に空気の通り

が悪くなりぜん息と同じような症状をきたします。このような場合にはぜん息の治療をいくらか行っても効果はなく、鼻水や痰などの分泌物を吸ってやると症状は改善します。またアレルギーのある子どもさんで、咳が長期間続いたためぜん息の薬を処方さ

ことで受診される方がいますが、咳の原因はぜん息ではなくアレルギー性鼻炎による鼻汁が原因であったなどということも少なからず経験します。このようにぜん息の治療に当たってはまず鑑別診断がとても大切です。ぜん息はいつ発作が起こるかかわらないという厄介な病気ですが、近年治療の進歩により、多くの子どもたちは、きちんと治療していれば日常生活を何の制限もなく普通に過ごせるようになっていきます。これはぜん息では気管支が慢性的に炎症を起こしていることが分かり、吸入ステロイド薬を中心とした炎症を抑える薬が発作の予防に

きわめて有効であることが分かったことによりです。発作を積極的に予防していくことが、ぜん息を悪化させないだけでなく、ぜん息を治す上でもきわめて大切なことが最近認識されるようになってきています。以上述べたような呼吸器症状を繰り返す子どもさんをお持ちの保護者の方は一度医療機関の受診をお勧めします。



電話相談



## 埼玉県アレルギー疾患相談室

アレルギー疾患の患者さんやご家族、保育所・幼稚園・学校・施設の職員などのご相談に、看護師がお答えします

月曜日～金曜日 午後1時～4時  
(年末年始・祝祭日は除きます)  
☎ 049-276-1763  
(埼玉医科大学病院内)

アレルギー性の疾患は個人差が大きく、同じ病名でも症状は一人ひとりで違います

- 気管支ぜん息
- 食物アレルギー
- アトピー性皮膚炎
- アレルギー性鼻炎
- 花粉症
- など...

食べたものが出た！  
卵は食べちゃいけないの？

咳がなかなかよくなりません。この方法を教えてほしい

エビパンはどこで買えばいいの？

こんな相談も...  
症状や薬、検査や治療のこと  
専門医療機関への受診のこと  
学校や保育所での対応に関すること

発行元: 埼玉医科大学病院

### 医療機関検索

◆埼玉医科大学病院アレルギー疾患医療拠点病院のホームページでは、食物経口負荷試験やエビパンの処方、生活管理指導表の作成が可能な医療機関について検索できます。

埼玉医科大学 アレルギー 医療機関検索 検索

<http://allergy.saitama-med.ac.jp/hospsearch/>



QRコード

たくさんのしあわせ 大きな喜び 第二百合幼稚園 結城 久美子

新米の頃に出会った魔法にかかったかのように子どもたちが引き込まれていく魅力的な先輩方の保育。純粹なキラキラした瞳。「毎日のあいつ以外にその子にしか掛けることのできない言葉を掛ける」という園長の言葉が日々の目標となつての今日。たくさんの出会いがあり、数えきれないほどの思い出と宝物があります。楽しい時はとびつきりの笑顔で、嬉しい時は全身で表現し合い、悔しい時はその気持ちを次につなげていけるように意見し合うなど、たくさんの経験の中で子どもたちと一緒に成長させてもらっていることの幸せ。時には壁にぶつかり、悩むこともあります。そんな時は信頼し相談できる同僚、仲間が支えてくれます。また保護者の励ましや協力も力になります。そこでまた自分自身

を成長させてもらえることにも感謝です。経験を重ねていく中、数年ぶりに卒園児と再会すると、立派な姿に感動します。そしてさまざまな分野で活躍をしている話を聞けること、幼稚園での経験が大きな力となっていることを知る喜び。その中でも教諭、保育士を目指して一生懸命頑張っているという話、活躍をしている話はこの上ない幸せであります。これらは私の原動力になっています。ご縁をいただいたみなさんとずっとつながっていただけることを大切に、みなさんにとつてあたたかい存在の幼稚園となり、子どもたちの未来に向けて志高くいろいろなことに挑戦できるよう更に努力していきたいです。



友だちと共に成長する子どもたち 浦和若竹幼稚園 工藤 香

四月、年中組からクラス替えをして年長組に進級した子どもたち。以前のクラスの友だちと遊ぶ子どもも多く、同じクラスでありながら別々の方向を見ているような…そんな子どもたちがまとまったのは、夏休みのお泊まり保育でした。初めて親元を離れ、友だちと過ごす一夜は、子どもたちにとって大冒険!!一緒にカレーを食べ、花火を見て、みんなで寝る。そんな時間が「みんながいれば大丈夫。」という思いを抱かせてくれたようです。

秋の運動会。組み立て体操やパラバルーン、みんなでバトンを繋ぐリレーを通して、諦めない強い気持ちとクラスで心をひとつにする大切さを知り、自然と互いに励まし合い頑張ることができるようになりました。冬のお遊戯会。遊戯や劇を最後まで

でつくりあげる中で、教え合い補い合う姿が見られ、さすがは年長さん!と感心しました。

三学期になってからは、逆上がりや折れるように頑張ったり、挑戦することがいっぱいあります。大変なのに子どもたちは毎日とても楽しそうです。それは、困った時に助け合える友だちがたくさんいるからでしょう。わずかな月日の中で、子どもたちの心は大きく成長しました。クラスとしてもグッとまとまり、卒園までの日々を全力で楽しんでいきます。たくさんの成長や溢れる笑顔を見せてくれる子どもたちは私の宝物です。これからも大切な子どもたちを応援し続けます。



年少男児の母親です。園にも慣れ、楽しそうに通園しておりますが、園での出来事や友だちの名前を聞いても「わからない」「知らない」等と言います。友だちができるのか心配です。



Question

子育て相談 Q&A

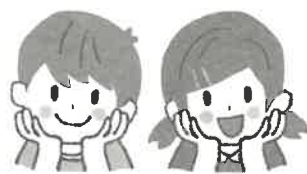
Answer

園での様子を話してくれないので本当に楽しんでいるか友だちと遊んでいるか親としては気になりますよね。

3歳児は友だちと関わり合いながら一緒に遊ぶことが少しずつ出来るようになってくる年齢ですがまだ一人遊びが好きな子もいます。同じ空間で同じ遊びをしているようで個々で遊んでいます。そうして遊んでいるうちに関わり合うようになり、楽しかった、おもしろかったという経験を積み重ねることで気の合う友達が出来、名前を呼び合い一緒に遊ぶようになります。また3歳児では1日を振り返って今日はどんなことをしたのか、だれと遊んだのかを思い出し、言葉に伝えるということがまだ上手にできません。言葉の意味も理解も記憶する力も未熟かと思しますのでお母さんの方から「〇〇くんとブロックで遊んだの?」と具体的に聞いてみるのもよいと思います。お話をすることが好きな子、苦手な子などそれぞれ個人差はあると思いますが、そのうち園での様子を自分から話してくれることなのでしょう。その時は笑顔でゆっくり聞いてあげてください。

(長谷川 小代里)





# 観られてますね

多くの人の期待を背に受けて羽ばたく子どもたち。

年少さんは年中さんに。

年中さんは年長さんに。そして、年長さんは小学生に。

憧れてきた、それぞれ一つ上へのステップ。大きく

なったという自覚や喜びを体験できるこの時節は、

心が躍進を遂げる、大きなチャンス。

ご家庭でも、じょうずにこの機を利用して、自信や自立心・自尊心などを大切に育んであげましょう。

先日の夜。都内の駅の階段を登り切った時の事です。「センセー——ッ!!」

雑踏の中、階段を駆け上ってくる声。振り向くと、「やっぱりC先生だ♡後姿ですぐにわかっちゃった。」

笑顔いっぱいに見おろす、切れ長の大きく輝く瞳が、

ひとりの幼児の瞳に重なる。「…もしかしてUちゃん?」「そう、U。わかるんだ♡」

20年ぶりの再会です。

幼児期の子育て支援が、まだ、公的機関からなござりにされていた、28年程前、

警鐘を鳴らし続けるも叶わず、待ちきれずに、自宅を

幼児とお母さんのおへやと称して解放し、午前は0

才・就園前の乳幼児、午後

は3才〜6才の幼児、各々

家族連れが、私のおへやでのびのびゆったり集団子育てを楽しんだ時代(子育て

サロンやサポーターが社会的支援を受けて活躍を始めるまでの18年間)がありました。

共に育ち合った80組程の乳幼児家族。Uちゃんは

その内のひとりです。

カナダが好き。英語が好き

きで、自力で留学を繰り返しているとのこと。

「Uちゃんの親 ああでしよう。(行っておいで笑)って言いながら費用準備してくれ

る訳じゃないし笑 私ね、仕事、二つも頑張ってる」

二人兄妹の妹。小さい頃のUちゃんママの子育ては、

「わあUちゃん いいじゃない♡」とほめ、「あらUちゃん

それは違うんじゃないの?」と笑顔でたしなめた。

その加減の良さが、Uちゃんは好きだった。そんなママが育て上げたUちゃんが

自信を持って、自分らしく頑張ってる姿を見て、自分らしく

「Mちゃんママはさすがだよ先生!わかるでしょ笑!?

力入れて育てて、Mちゃん(二人姉妹の長女)頑張ってますごい道に進んでるよ!」

「Eちゃん(一人っ娘)はね:」Aちゃん(二人姉弟の姉)はね:」と、以来ずっと仲良く大きくなってきたらしい、おともだちとお母さんとのエピソードをたっぷり盛り込みながら、乗車時間40分の間に、20年もの空白の年月を埋めてくれたのでした。

電話相談件数(令和元.4~令和2.1)

内容別件数 (のべ件数)

園・学校に行きたがらない	28
気になる行動(赤ちゃん返り・性器をさわるなど)	21
自閉症・多動・学習障害など	20
食事に関して	8
友だちに関して	28
幼稚園生活(いじめめる・いじめられる・なじめない)	31
言葉(遅い・幼児音・暴言)	5
言うことを聞かない・カンシャクなど	59
排泄について	5
その他	140
合計	345

「その他」の内訳 (のべ件数)

夫婦・家庭に関すること	7
保護者自身に関すること	56
幼稚園に関すること	33
親子の関わり方	30
子どもの健康に関すること	2
その他(親同士・習い事・相談機関等)	26
その他の内訳の合計	154

※複数項目にわたる相談のため、その他とその他の内訳の合計は合致しません。

**子育て電話相談**

毎週月~金曜日  
午前10時~午後4時

**☎048-863-7811**

幼児教育センター

どのように観られているとしてもこのころは♡ウチのママが一番♡これだけは普遍です

子どもはお母さんのことをよく観てますよね。幼い子の場合には感じとっているというべきでしょうか。自分のお母さん、おともだちや、見ず知らずの子のお母さんの性格・言葉づかい、良いところもそれ程でないところなど笑もいろいろ…。ご家族との間で、自分との関係を感じたり気づいたりしながら、日々模索しているのかもしれない。

どう対すればよいのか? どのように生きていくべきなのか? と、

子育てジャーナルのバックナンバーはこちらから

全埼玉私立幼稚園連合会  
ホームページ  
(<http://www.youchien.ed.jp>)

子育て支援 → 子育てジャーナルを選択

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの入手が困難になっているようです。衛生対策としては風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、マスクの着用、せきをする時に口・鼻をハンカチや腕などで覆う「せきエチケット」と丁寧な手洗いを心がけましょう。また、うがい、アルコール消毒なども行い一人ひとりが感染を予防しましょう。